

講義概要（シラバス）作成に関する注意事項（依頼）

下の注意事項を確認の上、○月○日(○)までに講義概要（シラバス）を作成してください。

「講義概要フォーマット」電子ファイルは、共有ドライブの R:【01 学務部】/◎【学務部】（旧教務部）/【シラバス】/【R5 シラバス（作成用）】の中にあります。

※シラバスの科目名表記：1a000000 科目名（学年/前期 a 後期 b/科目ナンバー/科目名）

※入力完了したシラバスの科目名の先頭に○印を入れてください。

※講義概要のフォーマットが変わりましたので、新フォーマットで作成してください。

甲子園短期大学 教務課

1. 全学・各学科のディプロマポリシーをご理解の上、講義概要（シラバス）の記入をお願いします。

2. 講義概要の記入に関する注意事項

①【実務経験の有無】担当する科目と関連した実務経験を有している場合、記入してください。

②【アクティブラーニング】の形態に○印を記入してください。

③【テーマ（授業目的）】

・授業を通じて、どのような目的で何を学ぶのかを具体的に記述してください。

④【授業概要（授業内容/方法）】

・15回の授業の全体像を把握できるよう、授業の内容や進め方を具体的に記述してください。

⑤【到達目標】

・学生が修得する知識・技術等を具体的に3項目以上記述してください。

・この授業の終了段階で、できるようになってほしい内容を「○○できる」という形式で記述してください。

⑥【全学DP】/【学科DP】

・【全学DP】の関連性があるところ（4～6）に○印を入れてください。

・【学科DP】の関連性があるところ（1～3）に○印を入れてください。

⑦【授業計画】

・複数回にわたって同様のテーマを扱う場合、各回の違いを明確に記述してください。

・15回目のテーマに「まとめ」などの表記をしないでください。

・予習（事前学習）、復習（事後学習）は、テーマと同様各回に記述してください。事前・事後学習の時間数は、授業形態による必要な時間を記載してください。

・オムニバスの科目は、担当教員を必ず記述してください。

⑧【課題等のフィードバック】

・フィードバック方法を記述してください。

⑨【定期試験に関する事項】

・定期試験・レポート・小テストなど具体的な項目や評価基準に配分割合を明記してください。

（例 試験 60%、小テスト 20%、提出物 20%）

・講義科目は、定期試験期間中に試験を、演習・実技科目も出来る限り試験を実施してください。

⑩【成績評価の方法及び基準】

・評価方法に出席点・平常点に関する記述はしないでください。

⑪【学習ポートフォリオ】

・レポート、論文、記録、収集した資料などの取扱いについて記述してください。

⑫【教科書/参考文献等】

・教科書を使用する場合、著者・「本のタイトル」・（出版名）明記してください。

・参考文献を使用する場合も必ず明記してください。

令和5年度版（専任教員用）

授業科目 (サブタイトル)														
区分	必修 ライフ選 学選介必 介選必					実務経験の有無			有：看護師 20年 or 介護福祉士					
資格	介護福祉士					担当形態			単独 複数 オムニバス クラス分け					
免許・資格 系列						科目ナンバー			000000					
						学科			学科共通科目					
授業形態	講義 演習 実習 実技				単位	2		授業 回数	15回 (30時間)	開講 時期	1回生		2回生	
	2単位：事前30h/授業30h/事後30h 2単位：事前15h/授業60h/事後15h 2単位：授業90h 1単位：事前15h/授業h15/事後15h					前期	後期				前期	後期		
アクティブ ラーニング (○印)	ディスカッション					○	グループワーク				○			
	プレゼンテーション					○	実習、フィールドワーク				○			
	ICT					○	その他				○			
テーマ (授業目的)														
授業概要 (授業内容/方法)														
到達目標														
全学DP (関連性○印)	1. 自立のために目標を明確にし、自らの意思で努力できる。(勤勉努力)											○		
	2. コミュニケーションにより互いに理解し、力を合わせることができる。(和衷協同)											○		
	3. 高い倫理観をもち、真心をもって誠実に行動することができる。(至誠一貫)											○		
	4. 倫理・道徳的な教養と専門的知識を身につけている。(知識・理解)											○		
	5. 時代に対応した専門的知識や技能を実践の場面で活用でき、継続して自ら学び続けることができる。(思考・判断)											○		
	6. 適切な情報を選択し、自ら考え、他者に提示できるとともに、新たな価値を創造し発信することができる。(技能・表現)											○		
学科DP (関連性○印)	1. 生活を取り巻く環境・健康・福祉に関する知識と技術を身につけ、生活場面及び地域社会で活用できる。(知識・理解)											○		
	2. 人を思いやる心をもって、豊かで安全・快適な生活を創造するため、主体的に行動できる。(思考・判断)											○		
	3. 多様な職種の役割を理解するとともに、円滑なコミュニケーションを図り、他者と連携し協同することができる。(技能・表現)											○		
コンピテンシー (身につける能力) (◎○△印)	1 自律力 将来	2 自律力 継続	3 コミュニケー ション力 相互	4 コミュニケー ション力協 同	5 社会貢献 力 模範	6 社会貢 献力 社会	7 展開力 実践	8 展開力 主体	9 プレゼンテ ーション力 情報	10 プレゼン テーション 力新	11 専門的 な展開 力実践	12 専門的 な展開 力主体		
	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		

アクティブラーニングは、
授業形態に合わせて○を
入れる

全学DP4~6
学科DP1~3
該当するところに
○を入れる

「文末は…できる」など学生主体の
文章で自己評価出来るように3項目以上

教務課で入力

授業計画

No.	テーマ	予習（事前学習）	復習（事後学習）																		
1	<p>テーマの書き方</p> <p>プレゼンテーションの方法</p> <p>発表①（食文化について）</p> <p>発表② ～異文化について～</p>	<p>テーマが同じ場合はカッコや～文字などを利用して具体的な内容を記述し、違いを明確にする</p>																			
	<p>オムニバス科目の場合、各担当教員を記述</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>プレゼンテーションの方法（甲子園）</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>発表①（食文化について）（@@@）</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>発表② ～異文化について～（@@@）</td> </tr> </table>			1	プレゼンテーションの方法（甲子園）	2	発表①（食文化について）（@@@）	3	発表② ～異文化について～（@@@）												
1	プレゼンテーションの方法（甲子園）																				
2	発表①（食文化について）（@@@）																				
3	発表② ～異文化について～（@@@）																				
15		<p>各担当教員をテーマの横にカッコ文字を利用して記述する</p>																			
		<p>注 意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15回目のテーマに『まとめ』などの表記をしない ・テーマ、予習、復習の各項目は必ず15回分記入する各項目2行以内 																			
成績評価の基準 (GPA)	<table border="1"> <tr> <td>評価区分</td> <td>100～90点</td> </tr> <tr> <td>本学評価</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>付加するGP</td> <td>4</td> </tr> </table>	評価区分	100～90点	本学評価	S	付加するGP	4	<table border="1"> <tr> <td>89～80点</td> <td>79～70点</td> <td>69～60点</td> <td>59点～0点</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </table>	89～80点	79～70点	69～60点	59点～0点	A	B	C	D	3	2	1	0	
評価区分	100～90点																				
本学評価	S																				
付加するGP	4																				
89～80点	79～70点	69～60点	59点～0点																		
A	B	C	D																		
3	2	1	0																		
課題等のフィードバック		提出された課題にコメントをつけて次回の授業でフィードバックする。etc																			
定期試験に関する事項		定期試験日に行う。 筆記試験 or レポート試験 etc																			
成績評価の方法及び基準		定期試験 80% 課題提出（小テスト・レポート提出） 20% etc																			
学習ポートフォリオ		学習達成状況を評価表により担任へ報告する。etc																			
教科書/参考文献等 〈教科書及び参考文献〉著者名『書名』（出版社名）		〈教科書〉著者@@@@『@@@@』（@@出版） etc																			

担当教員名

注 意

- ・15回目のテーマに『まとめ』などの表記をしない
- ・テーマ、予習、復習の各項目は必ず15回分記入する各項目2行以内